

平成19年度 事務事業評価表		担当	企画部	企画広報課	内線等	1532
事務事業名	まちづくり推進事業			事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）	
根拠法令等	なし			Eなし		

総合計画での位置付け

基本目標	6. 市民とともに歩むまちづくり	施策名	コミュニティ活動
------	------------------	-----	----------

事務事業の内容

対象（受益者）	市内のボランティア団体やNPOなどの市民活動団体のために
手 段	市民活動の場所を提供するとともに、まちづくり、協働事業推進の拠点としての活用を図る。
想定する成果	活発なコミュニティ活動等の展開。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
登録団体数	121団体	78団体	84団体
利用件数	1,213件	1,329件	1,700件
相談件数	550件	581件	700件
委託料	8,100千円	8,100千円	10,000千円

成果指標

成果指標名	まちづくりセンター貢献指数（％）	市民活動団体相談指数
成果指標の説明	まちづくりセンター委託料 / 利用件数	相談件数 / 登録団体数

事業の進捗状況 （ 一般 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		6,678円				6,095円				5,882円			
成果指標		4.5件				7.4件				8.3件			
事業費	事業費	8,100				8,100				10,000			
	人件費	6,227				6,248				6,276			
	(人数)	正規	0.8	非常勤		正規	0.8	非常勤		正規	0.8	非常勤	
	合計	14,327				14,348				16,276			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	14,327				14,348				16,276			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	3	3	2	まちづくりセンターとしての活動は平成19年10月からであり、まだ日が浅いが、相談件数、利用件数とも増加傾向にある。
経済効率性	2	2	2	2	費用の主なものが人件費であり、常勤3名、パート1名で1日8時間、年間約300日を開館し、対応している。
事務効率性	2	2	2	2	相談件数・利用件数の増加に対応しており、また、まちづくりセンターとして、行政の各機関とともにまちづくりを計画する事業に多く参加し、業務量は増加している。
必要性	3	3	3	3	市民活動団体からの認知度は上がっており、行政の各機関からの相談も増えるなど、蒲郡市のまちづくりに関しては欠かせない機関となっている。
小計	10	10	10	9	
施策への貢献度	3	-	3	-	「ボランティア活動等の普及促進」について、助成金の申請・プレゼンへの助言を行なう中で、多くの市民活動とかわり、それらをつなげる活動が実施できている。
合計	13	10	13	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A	
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
・市民活動の活発化に伴い、現在の体制では慢性的な人員不足に陥っており、常勤3名体制での体制に改善する。
上記改善点の実施状況
・常勤3名体制とし、幅広い業務に対応することができている。

今後さらに改善すべき点

平成20年に策定予定の協働まちづくり基金において、基金の運用方法を検討する業務を担うため、その業務に対応する人件費が必要となる。
--

平成21年度予算に反映する項目

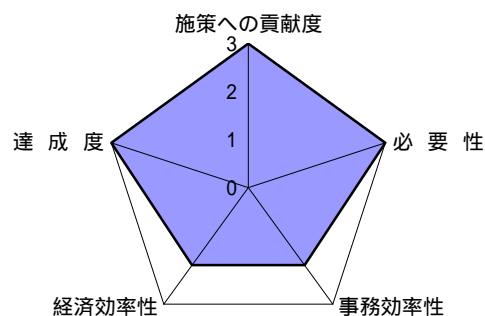
現在7時間の勤務の体制を、8時間として対応。
------------------------

今後の方向性

<b>拡大、充実</b>
--------------

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点